



# 深雪スキークラブ BBQ交流会

10月11日(日)に深雪スキークラブの行事を、なかハウス(東さん宅)で行いました。BBQを囲んで、飲んだり食べたりの交流会は久しぶりということで、14人の参加がありました。

今回は早めに終えようということで、買い物の買い出しを東夫婦に頼んだところ、みんながなかハウスに着く頃には食材を洗って切ってグループごとに分けるところまですっかり済んでいました。後は火を起こして食べるだけという、どこかのリゾート地のような状態になっていました。しかもお肉が足らなくなるまいと、東(雅)さんがホットプレートで焼きそばを作って、取り急ぎおなかを三分目位にまで満たしてくれて、何かから何まで東ご夫婦にはお世話になりました。

固まり肉から作ったローストビーフとか、生のぶたホルモンとかホイルを巻いての焼きイモとかもありお腹が満足した一日でした。

去年のスキーシーズンに入ったクラブ員も参加してくれて、平均年齢が少し下がりました。彼は外国によく行くので、サンアントンとかスキー場についてよく知っているとのことで、「コロナが収まったたら、みんなで行きたいね。」と話が盛り上がりました。深雪スキークラブの次の目標にしたいところです。

酒宴はコロナが心配という声もあり、まだ誰でも参加できる状態ではありませんが、大きな声でのおしゃべり、飲酒を抑えぎみにして、それでも楽しく過ごすことができました。

スキーシーズンはもうすぐそこです！

(安藤記)



## 釋邸薪割りツアーの報告

2020/10 大城記

2020年9月29日～10月7日の間で、北海道岩内町の釋さん別荘の冬支度に行ってみました。参加者はオーナーの釋さん、クラブ員2名と自転車クラブ友人と私の5人のメンバーです。

薪割りツアーという名目ではありますが、紅葉のニセコ連峰の山登り、自転車サイクリング、秋のグルメ、山ぶどう狩り、岩内温泉も楽しもうという魂胆で、いずれも達成してきました。その上にフェリーはスキスキ、GOTOトラベルも適用されました。

今シーズンのツアーノルマは薪小屋を建てることです。

建築廃材を利用して作ろうと、構想図だけ持ってホームセンターに向かいました。しかし、ホームセンターのパイプ材を見て計画変更。材料、工具を購入し、なんと2日間で屋根付きの立派な小屋を作ることができました。

来シーズンは写真の左側にも建てるのがオーナー要望です。







山登りはニセコアンヌプリです。

登り 2 時間半、下り 1 時間半の行程ですが、登りながらこの斜面を滑ったよね、とか、イワオヌプリのあそこも滑ったよね、と話しながら登っていきました。頂上では羊蹄山を見ながらアンヌプリの頂上からの滑降ルートを教えてもらいました。

自転車サイクリングは 2 つのコースを走りました。

洞爺湖一周は約 40 km。左回りで常にカルデラ湖見ながら、概ね平たんなルート

を木の実と落ち葉を踏みながら走りました。唯一、昭和神山への寄り道はきつかったです。

もう一つは別荘から積丹半島、余市までほぼ一周は約 120 km。別荘から半島先端まではトンネルが多いコースですが平たんで車も少なく快適でした。半島先端から余市までは車が多く、かなり厳しい登りと道も荒れていましたが、名所がたくさんあり、鮭の遡上も見ながらのコースでした。

余市と岩内の間の稲穂峠トンネルは自転車では危険で、柿崎での食材購入を兼ねて釋さんに迎えに来ていただきました。

山ぶどうは豊作でした。

10 月 5 日に 3 人で岩内岳登山口付近まではしごを持って出かけました。トロ箱一杯の収穫で、3 人で山分けし自宅持ち帰り加工しました。前田さんは山ぶどうジュース 2 リットル、友人はジャム、大城はホワイトリカーとブランデーベースで山ぶどう果実酒 2 升。3 か月ほど熟成要ですが、味見をしたところそんなに待ってられないほど美味しい。

岩内露天風呂温泉は毎日が朝風呂でした。

私設の露天風呂は別荘の前にあります。昨年から進化して 2 つの風呂桶、風よけ設置されています。秋の気温では露天風呂は気持ちがよく、キタキツネものぞきにきていました。



最終日には紅葉の神仙沼を歩いてから帰路につきました。来シーズンも計画したいと思っていますが、ひょっとしたらヨットで海釣りのプランが追加されるかもしれません。

ぶなの木通信より抜粋編集

行事 確認

技術講座①11 月 1 日と②11 月 22 日 なかハウス

山スキーの集い 11 月 12 日 ZOOM で

初滑り in 菅平 1 2 月 1 2 日 1 3 日 チラシあり

レベルアップ 1 月 9 日 10 日野麦峠スキー場

やぶはらポール合宿 1 月 16 日 17 日

いよいよスノーフェスティバル 1 月 30 日 31 日

フェスティバルに備え、  
下見 9 月 27 日 (今後も予定)  
準備会 8 月 3 日・8 月 22 日  
9 月 7 日・10 月 13 日として  
います。みなさまの協力で  
何としても成功させましょう。

## 山スキー用語解説⑤《山スキー用具》『シール』

シールはスキー滑降面に装着して、スキーを履いたまま雪山斜面を登ることができる優れたものです。ナイロンやモヘヤ素材の起毛により斜度 20 度くらいまではスキーで登ることができます。

当初はアザラシの毛皮を使用していたためでしょう、英語ではスキンと言われています。現在は 2 万円前後で販売されています。メーカーはブラックダイヤモンド、K2、G3、ポモカ等たくさんありますが、現在、私はポモカを使用しています。自分の登攀能力に合わせて 3 種類の起毛パターンから選択できると、シール接着糊を幾分信頼しているためです。

雪山賛歌の歌詞、2 番目に「シール外して パイプの煙 輝く尾根に 春風そよぐ」とあります。山スキーで天気のいい日、さあ、滑るぞと思った時よくこの歌詞がよぎります。

歌詞の 1 番から 5 番までピッケル、アイゼン、ザイルも入っていないのにシールだけ含まれるのは、それだけ山スキーでは特別な存在でありませぬ。夏の間の高温による接着面の劣化を避けるため冷蔵で保管している人もいます。

(大城記)



## アルペン競技用語解説 2 3

### 両足不通過・片足不通過 (通称片反)

スキー協の全国競技会は、2 月 27 日 28 日と一週間早く、場所も湯ノ丸スキー場になるようです。大会を開催するための費用を抑えて実施するための措置です。参加者がもっと多ければ成り立ちますが、近年どの大会も参加者が減り中止になっている大会も多いです。

そこで旗門員ができる人がいれば予算を縮小できます。旗門の通過を判定するのが最も大切な仕事です。

コースに入れずに不通過した場合を「両足不通過」といいます。スラロームでは、ポールをまたいでしまっ

て片方の足しか通ってないのを「片足不通過」の反則ということで通称「片反」といいます。上記写真のようにスラロームではストックでポールをなぎ倒すので、倒したポールの上を通ることがあります。その場合、元々ポールが立っていた位置・根元の位置を通ったかどうかを見ます。一瞬のことで(選手は感覚になる)、これを判定するのは大変です。疑わしきは罰せずですが、自信があるときは「片反」にします。ビデオ映像があるのが一番です。選手の方も選手が抗議をする場合のために選手のサポートとしてビデオを撮っておくことは意味でも大切です。

(澤田記)

